

BCP（事業計画）チェックリスト

緊急事態に対応するために

はじめに

事業継続計画（BCP）とは

災害時に特定された重要業務が中断しないこと、また、目標復旧時間内に重要な機能を再開させ、業務中断に伴う顧客取引の競合他社への流出、マーケットシェアの低下、企業評価の低下などから企業を守るための経営戦略をいいます。

出典元：内閣府ホームページ（<http://www.bousai.go.jp.kyoiku/kigyou/keizoku/sk.html>）

認識・計画

- 1. BCP(事業継続計画) を策定していますか
- 2. BCP(事業継続計画)の内容や意義・意味を全従業員に周知できていますか
- 3. 大規模地震が発生した場合のリスクを認識していますか
- 4. 大規模地震が発生した場合、事業にどんな影響があるのか想定していますか
- 5. BCP(事業継続計画)やマニュアル、連絡先等はプリントアウトを用意していますか
- 6. 顧客や取引先への影響度を把握していますか
- 7. BCP(事業継続計画)の周知について取引先や従業員の家族にも図られていますか
- 8. 緊急時（BCP 発動時）のフローチャートは作成していますか
- 9. 大規模地震が発生した場合の被害予測を各部門長や担当者は把握していますか
- 10. 各種リスト化と緊急時に必要な紙文書の用意は出来ていますか

組織・体制

- 1. 全社員へ定期的に BCP(事業継続計画)の教育を行っていますか
- 2. 火災発生時に従業員や社員の安否確認をとる方法はありますかまた、訓練をしていますか

BCP（事業計画）チェックリスト

緊急事態に対応するために

- 3. 災害対策本部の設置について決め事はできていますか
- 4. 組織・運用体制と指揮命令系統は作成されていますか
- 5. 指揮命令系統である社長や取締役、各部門長が不在だったり、事故があった場合の代替者は決定しましたか
- 6. 外部との情報の受け渡し体制や連絡先リストは作成しましたか
- 7. 安否確認方法および緊急連絡表はリスト化して出力していますか
- 8. 地域や関連会社と連携できるように情報収集出来ていますか
- 9. 自社が地域住民に協力できる体制（人・場所・物資）は作っていますか
- 10. 従業員の安否確認書や手書きができるチェックリストは出力しましたか

業務継続

- 1. 日常からデータのバックアップ対策は行われていますか（印刷データ・受注データ・経理データ・社員データなど）
- 2. 遠隔地に所在する同業他社との間で災害時相互応援協定は結んでいますか
- 3. 資金財務（復旧時に必要な必要資金）を把握していますか
- 4. 保険（復旧算定）内容は BCP（事業継続計画）に対応していますか
- 5. サーバーや PC が破損した場合の対処方法を把握していますか
- 6. 自動発電装置はありますか
- 7. 通常の日あたりの電力使用量を把握していますか
- 8. 復旧に必要な経営資源（人・モノ・金・情報）をリスト化していますか
- 9. 材料や調達部品などが供給されない場合の代替調達先を把握していますか
- 10. 取引先（前工程・後工程）は BCP（事業継続計画）を策定していますか
- 11. 機械設備などに地震対策を行っていますか？
- 12. 配置図や電気配線図、危険物取扱品など、整備されていますか

安全・減災措置

- 1. 工場設備やオフィス機器により、怪我をしないような対策を行っていますか
- 2. 大規模地震発生時、従業員の出社基準、また帰宅基準は決められていますか

BCP（事業計画）チェックリスト

緊急事態に対応するために

- 3. 電話や通信が途絶した場合の行動指針（ガイドライン）を従業員に周知していますか
- 4. 避難の基準や避難体制を定めましたか
- 5. 避難・誘導方法と避難経路、避難場所を決めましたか
- 6. 傷病者搬送や緊急輸送手段は定めていますか
- 7. 緊急時に必要となる医療機関や公的機関の連絡先などは用意していますか

ライフライン

- 1. 大規模災害時の備蓄品（食料、水、ヘルメット、毛布等）の用意はできていますか
- 2. 備蓄品は定期的に点検・点検時期をさだめていますか
- 3. 医薬品等の備蓄は用意されていますか
- 4. 下水が使用不能でトイレが使用出来ない場合の計画はありますか

広報

- 1. 顧客・取引先への自社の状況を知らせる手段は構築されていますか
自社のホームページや伝言ダイヤルなどで、自社の状況を伝えられるようにしておく顧客や取引先に不安をあたえなくて良いでしょう。

まとめ

チェックが 10 個以下の場合

緊急の対策が早急に必要です！まずは基本的な BCP の策定をおこない災害に備えましょう。

チェックが 11～30 個の場合

意識は高いようですがまだ足りていない状態です。今回のチェックで足りなかった項目の拡大を行いましょう。

チェックが 31～46 個の場合

基本的な BCP 策定はできているようです。さらに自社の事業内容に沿った項目を追加して充実させましょう。